

平成 24 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	日本事情	担当教員	種村俊介		
学年学科	4年 留学生	前期	必修	単位数	1 単位
学習・教育目標	(C-1) 30% (A-1) 70%				
<b>授業の目標と期待される効果：</b>  これまでの日本事情に関する知識を基に、現代日本の社会的現象、諸問題、及び文化についての知識と理解を深める。		<b>成績評価の方法：</b>  定期試験 100 点＋平常試験・課題 200 点  得点率 (%) で成績をつける。			
		<b>達成度評価の基準：</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本事情に関する用語の理解度を測る試験で 6 割以上できる。</li> <li>・日本事情に関する基礎的用語を 6 割以上の的確さで説明できる。</li> <li>・現代日本の社会的現象や諸問題の理解度を測る試験で 6 割以上できる。</li> <li>・現代日本の主な社会的現象や問題を 6 割以上の的確さで述べることができる。</li> </ul>			
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 授業では生教材(新聞・雑誌等)が使用されるので、日頃から新聞や雑誌を読むように心がけること。また興味を持った事柄に対して自分なりに調べ、自分なりの意見をまとめて授業に臨むこと。受講者の理解度や興味関心に応じて、進度やテーマを適宜変更する可能性もある。					
<b>教科書および参考書：</b> 生教材を使用するため特定の教科書は使用しない。					
<b>授業の概要と予定：前期</b>					
第 1 回：ガイダンス					
第 2 回：「文化」をテーマとして					
第 3 回：「文化」をテーマとして					
第 4 回：「風習」をテーマとして					
第 5 回：「風習」をテーマとして					
第 6 回：「家庭」をテーマとして					
第 7 回：「家庭」をテーマとして					
第 8 回：中間試験					
第 9 回：「社会」をテーマとして					
第 10 回：「社会」をテーマとして					
第 11 回：「芸術」をテーマとして					
第 12 回：「芸術」をテーマとして					
第 13 回：「政治」をテーマとして					
第 14 回：「政治」をテーマとして					
第 15 回：「地方」をテーマとして					
<b>期末試験</b>					
第 16 回：フォローアップ (期末試験の解答の解説など)					